

院内がん登録から見える 一肺 癌

広島市立広島市民病院
医療支援センター 診療情報管理室

梅本 礼子

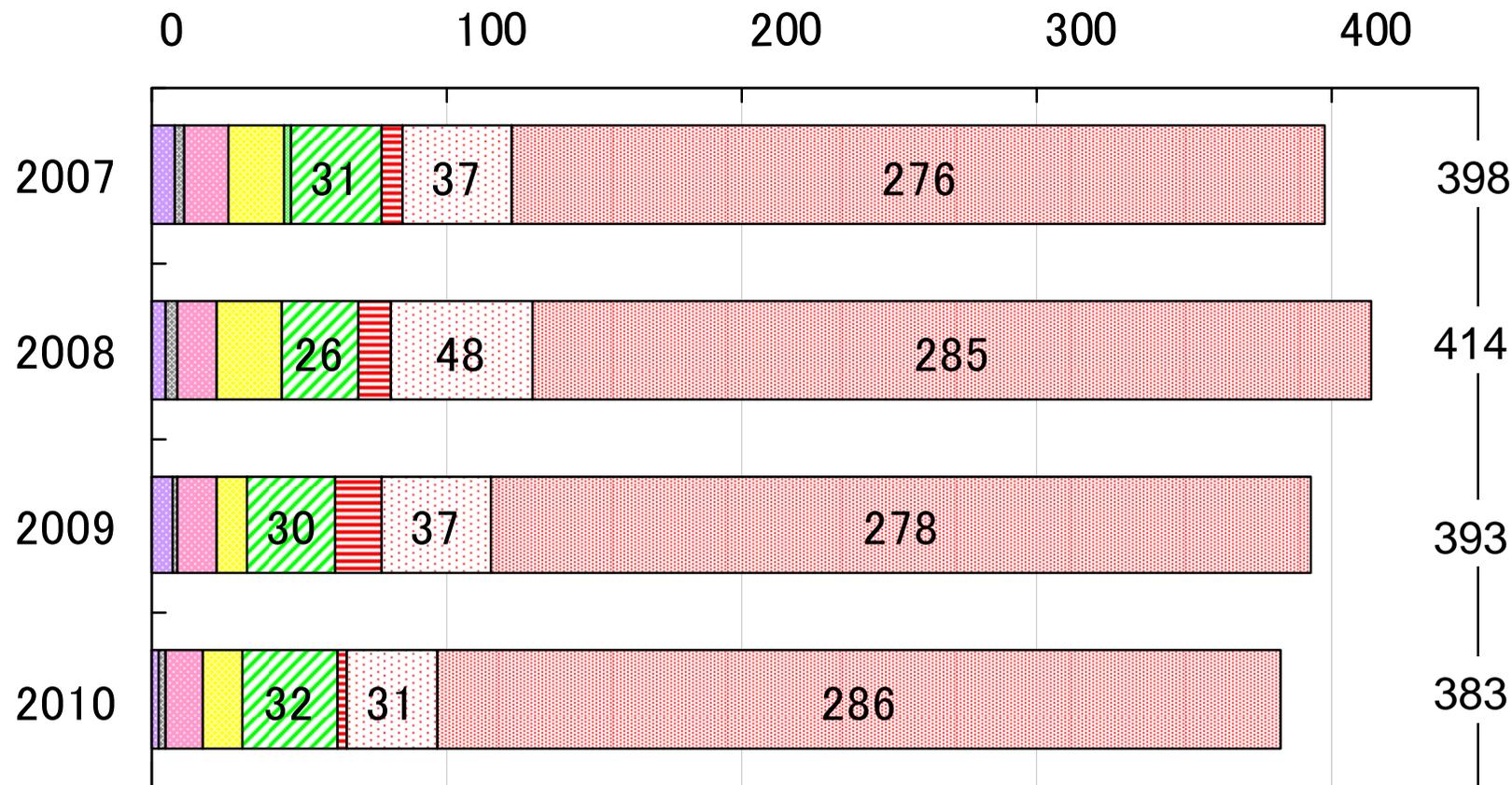
国立がんセンター院内がん登録中級者
国立がんセンター院内がん登録指導者
国立がんセンターがん登録実務者研修専門家パネル委員



症例区分	生存率を算定する上で対象となる症例範囲を決定する区分 症例区分2: 診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例 症例区分3: 他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行がなされた症例。 上記を集計対象とし、算出することとする。
治療前ステージ	UICCの定めるステージング方法に基づき、何らかの治療の行われる以前につけられた病期を指す。 我国の通常臨床現場で使用されるがん取扱い規約に基づくステージとは若干異なる部分がある。 癌腫が分類の対象となっていることから、組織診断名コードをもとに、肉腫やリンパ腫、カルチノイドを除いて集計している。
治療	登録対象となったがんに対する初回治療である。
初回治療	治療開始時点で計画された一連の治療のことであり、症状・治療の進行に従って後に追加された治療は含まれないことに注意する必要がある。特に当初、経過観察が計画されて病状が悪化したために治療が行われた場合も初回治療はなしとなる。初回治療として計画されていても、他院で施行されたものは登録されず、登録施設で行われた治療のみが登録対象となる。症状緩和的な目的でおこなわれた手術や放射線治療も部分的に腫瘍に対する治療であるといえることから、登録対象の治療に含まれる。

院内がん登録 肺癌 症例区分別登録数推移

2007年～2010年
1588例



- 他院へ紹介
- 自施設で経過観察
- 診断のみ
- 他院初回治療開始後もしくは再発症例
- 診断ならびに自施設初回治療施行
- 来院中断
- セカンドオピニオン
- 自施設で診断後、他院へ紹介
- 他施設診断ならびに自施設初回治療決定施行

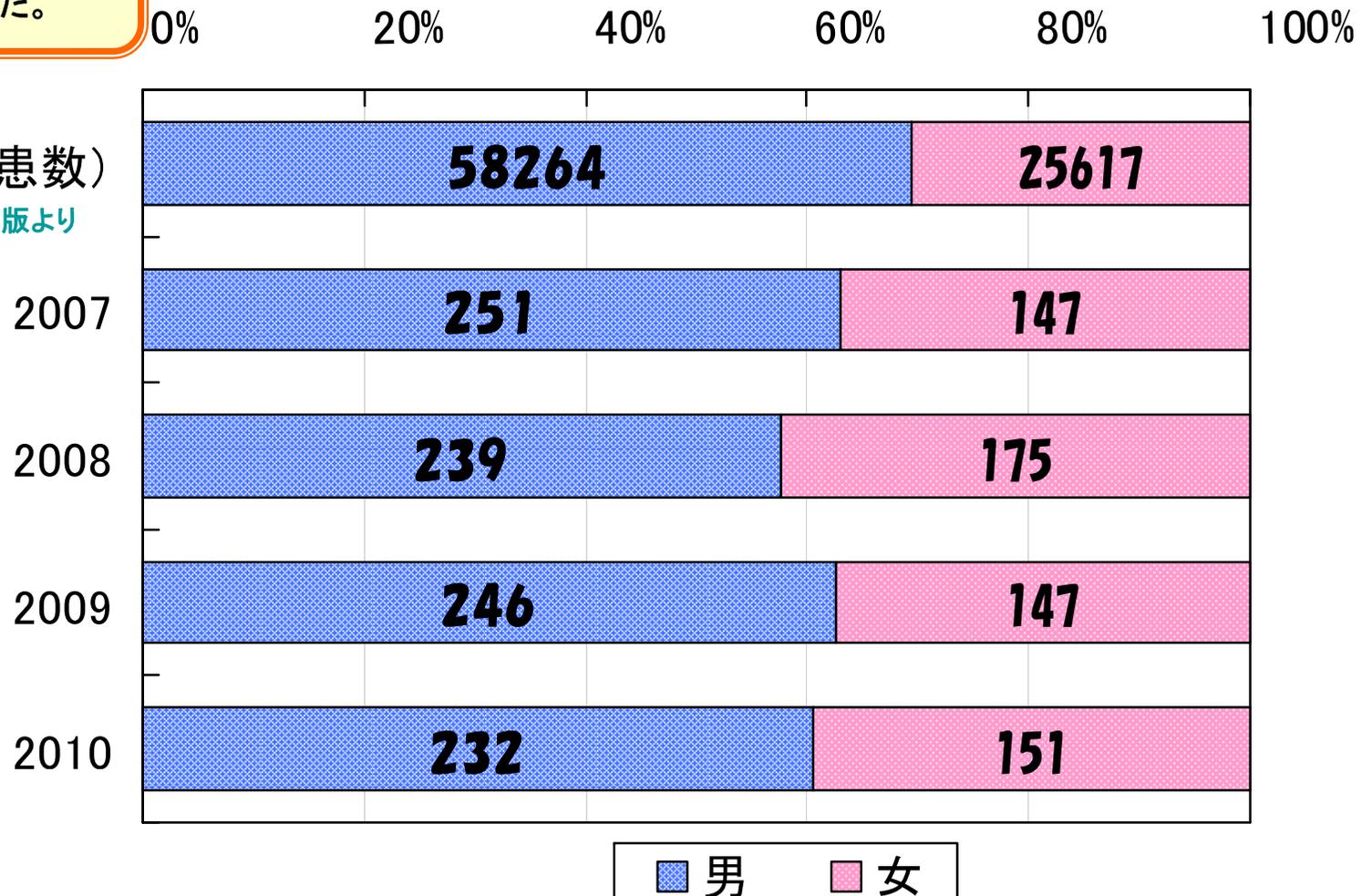
肺癌はかつて男性の癌といわれていた。がんの統計2010年版には2005年の肺癌男女別の罹患数が示され、男性69%、女性31%である。

当院のこの4年間を平均すると男性60%女性40%と全国集計に比すると女性の受診患者の割合が高いことがうかがえた。

院内がん登録 肺癌 年別性別登録数推移

2007年～2010年
1588例

2005(肺癌罹患数)
がんの統計 2010年版より

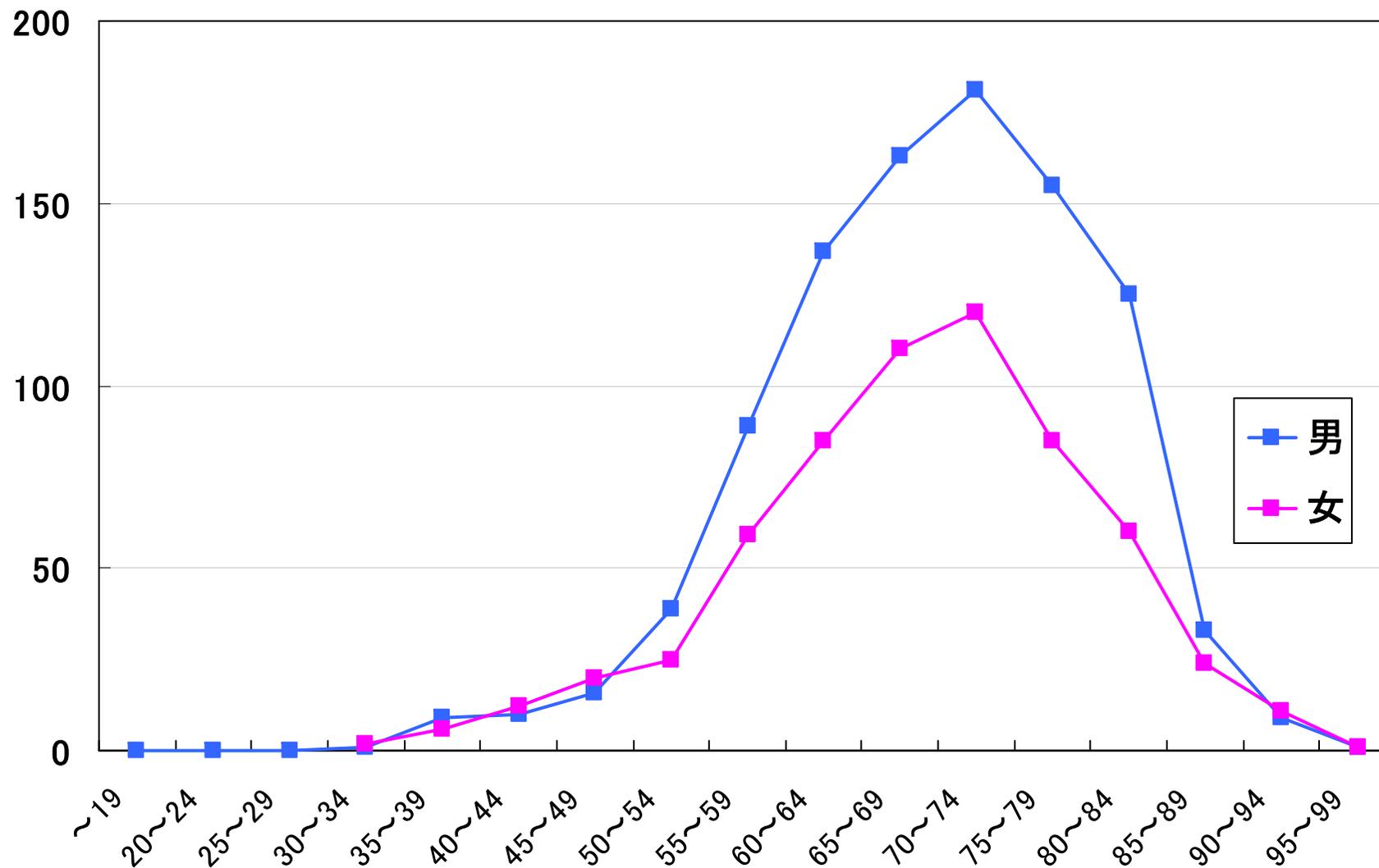


院内がん登録 肺癌

性別年齢階級別罹患数

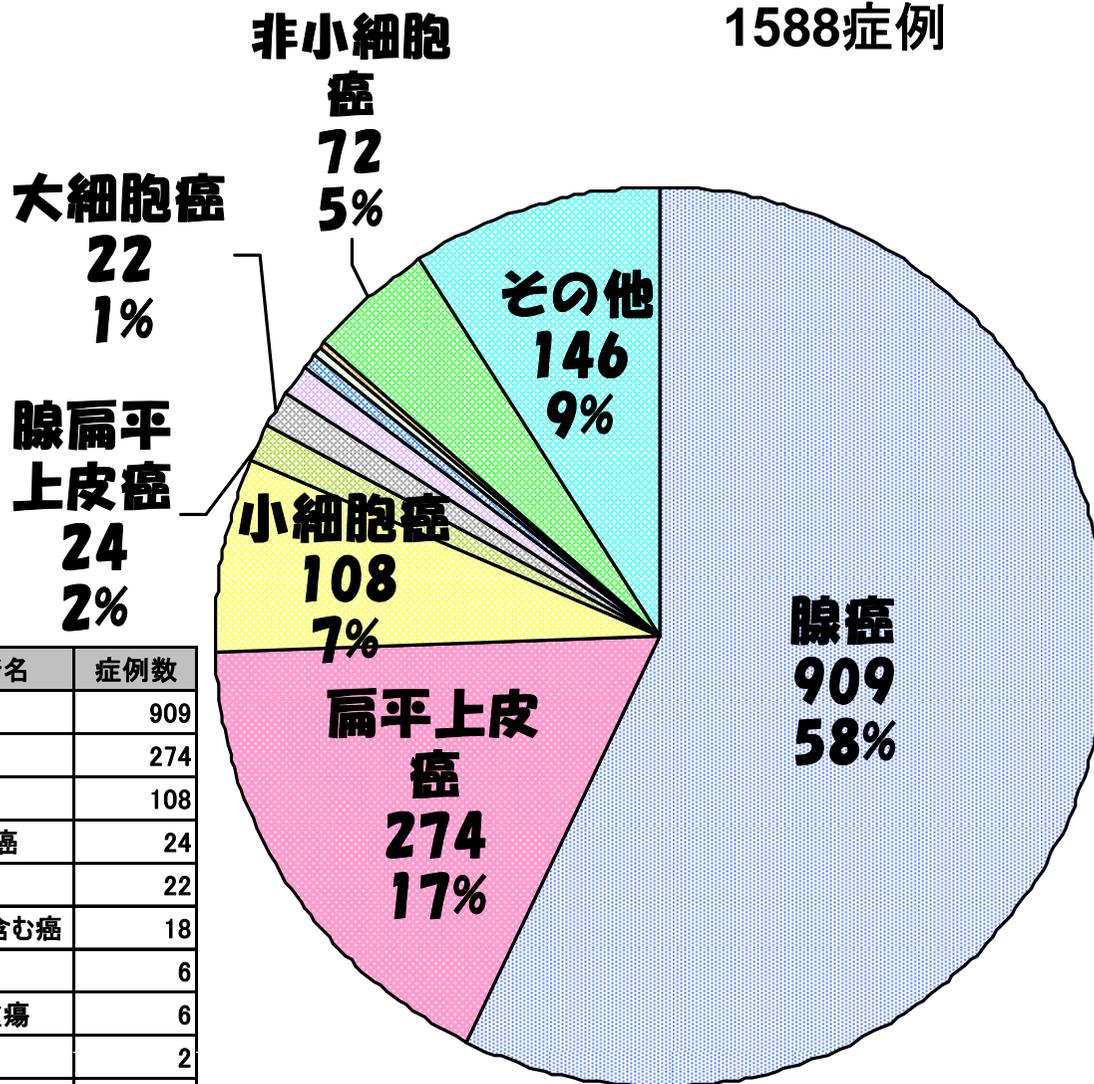
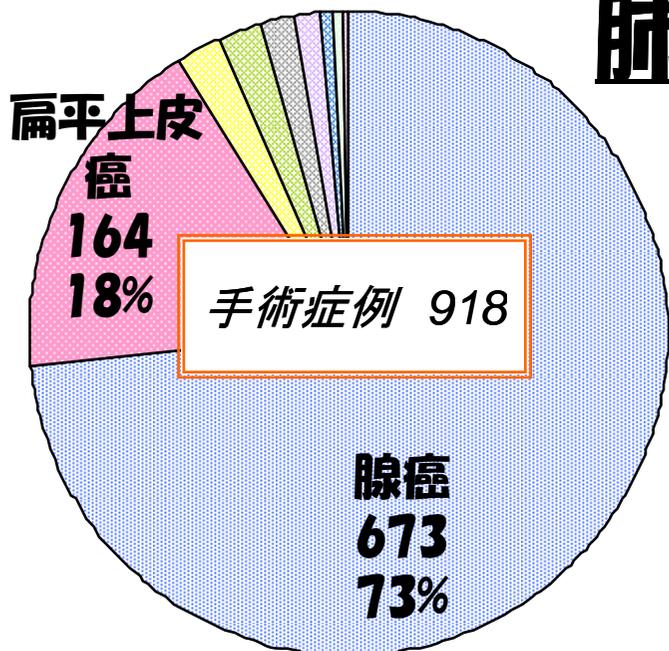
2007年～2010年

1588例



肺癌組織型の割合

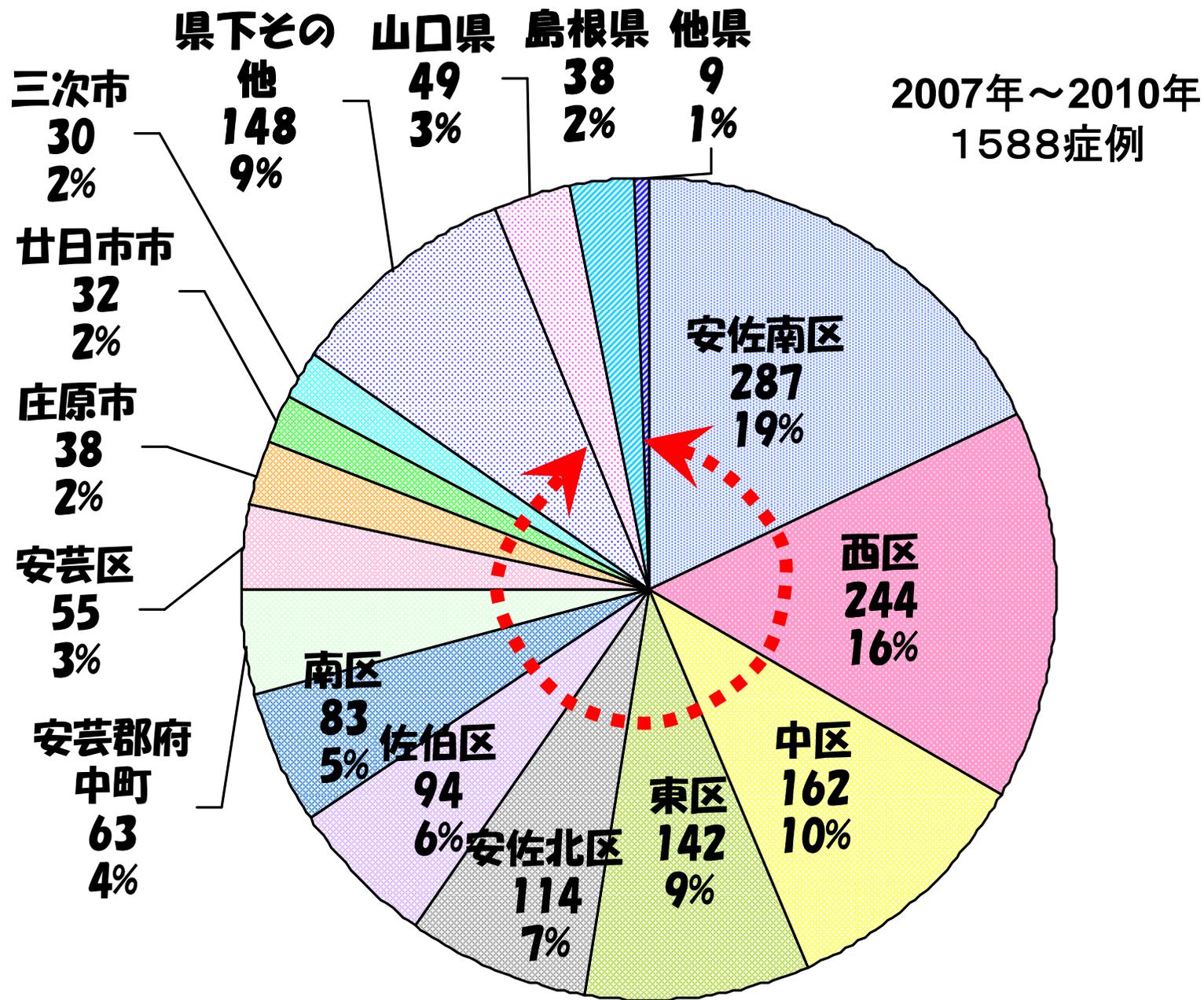
2007年～2010年
1588症例



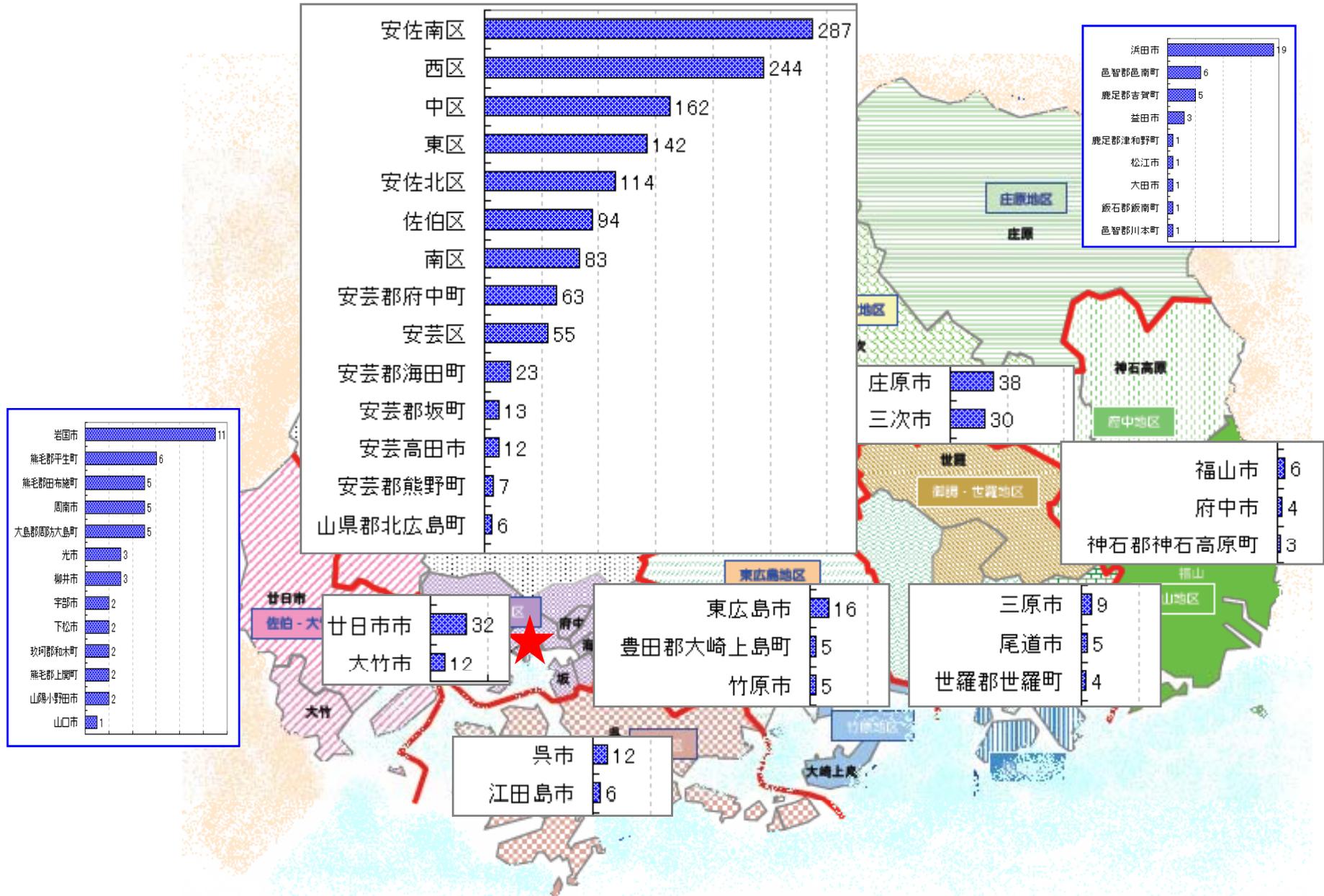
肺癌における組織診断は、治療方針を決定する際に重要な情報である。特に小細胞癌か非小細胞癌であるかは欠くことのできない診断である。肺癌の解説テキストにある腫瘍組織型の割合と比べると当院の登録症例は腺癌の占める割合が高いといえる。手術症例に限ってみると腺癌の割合は73%と高値であった。

組織診断名	症例数
腺癌	909
扁平上皮癌	274
小細胞癌	108
腺扁平上皮癌	24
大細胞癌	22
肉腫成分を含む癌	18
唾液腺型癌	6
カルチノイド腫瘍	6
リンパ腫	2
悪性黒色腫	1
非小細胞癌	72
その他	146

肺癌患者さんの居住地域別割合



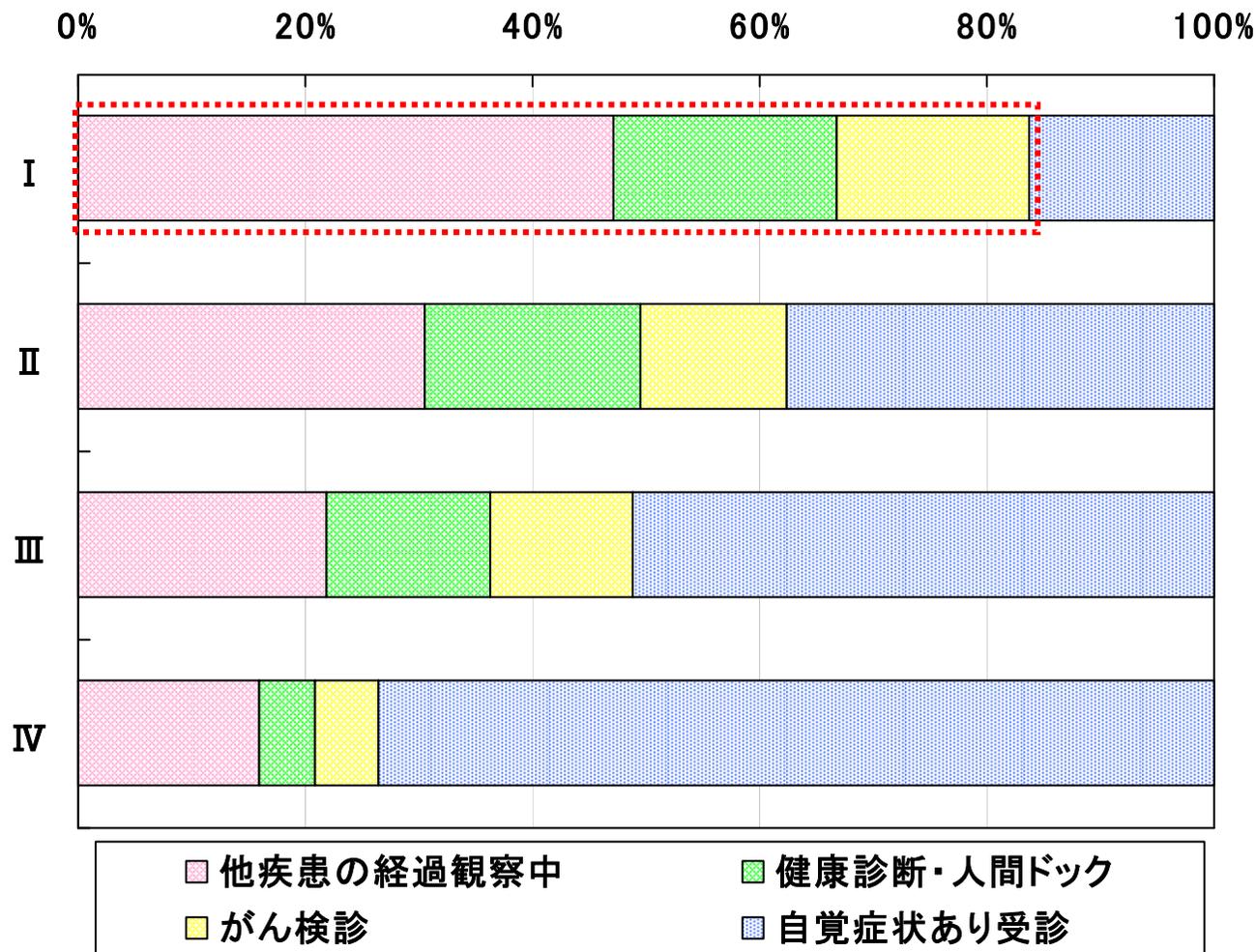
肺癌患者さんの居住地域別（医療圏別）割合



肺癌ステージ別発見経緯の割合

(2007年～2010年 1588症例)

臨床Stage, 術後Stageを含む最終Stage別に発見経緯(どういったきっかけで癌が見つかったのか)を集計すると、末期がんとされ治療法も限られるIV期の方は、自覚症状があって医療機関を受診していることがわかる。対して早期がん(身体的負担の少ない治療方針となる)でみつけるためには、がん検診やかかりつけ医に受診して定期的にスクリーニング検査を行うことが大切であることが見えてくる。



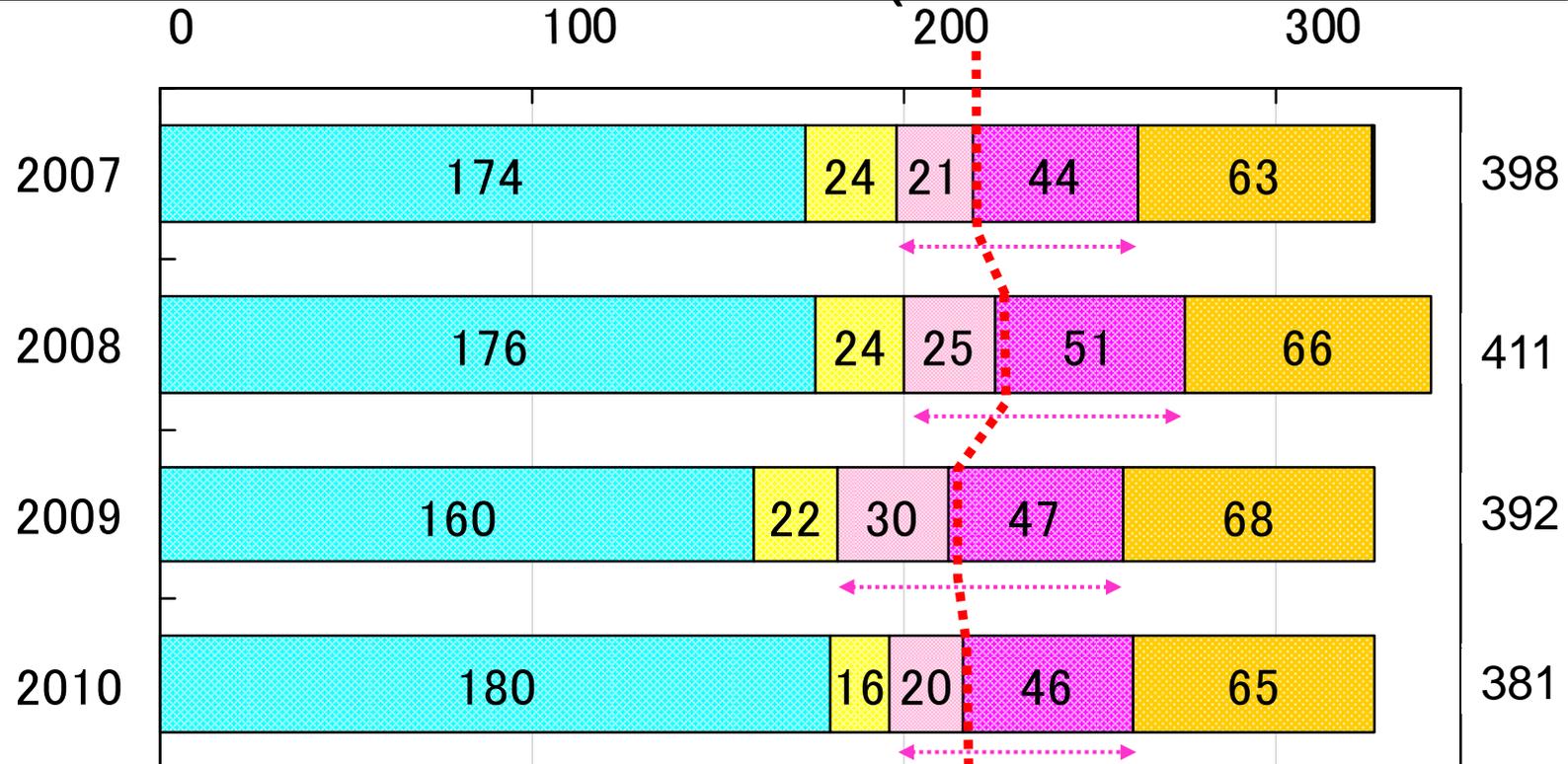
2007年～2010年

1323例

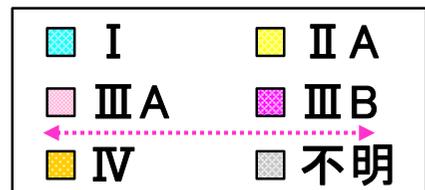
(カルチノイドを除く)

院内がん登録 肺癌

ステージ別登録数推移(初回治療施行)



当院で初回治療が施行された症例を年別最終ステージ別患者数で集計すると、手術の適応となるⅠ期が各年で44%、43%、41%、48%と高い割合を占めている。Ⅲ期、Ⅳ期と続き、全国的に見てもⅡ期の症例は非常に少ない傾向にある。特に、Ⅲ期はリンパ節転移によりⅢA期とⅢB期に分かれ、治療方針が違って来る。手術の適応と非適応がこの赤い矢印点線のラインで分かれてくる。次にお示しする治療法別の集計でこのラインの意味するところが見える。

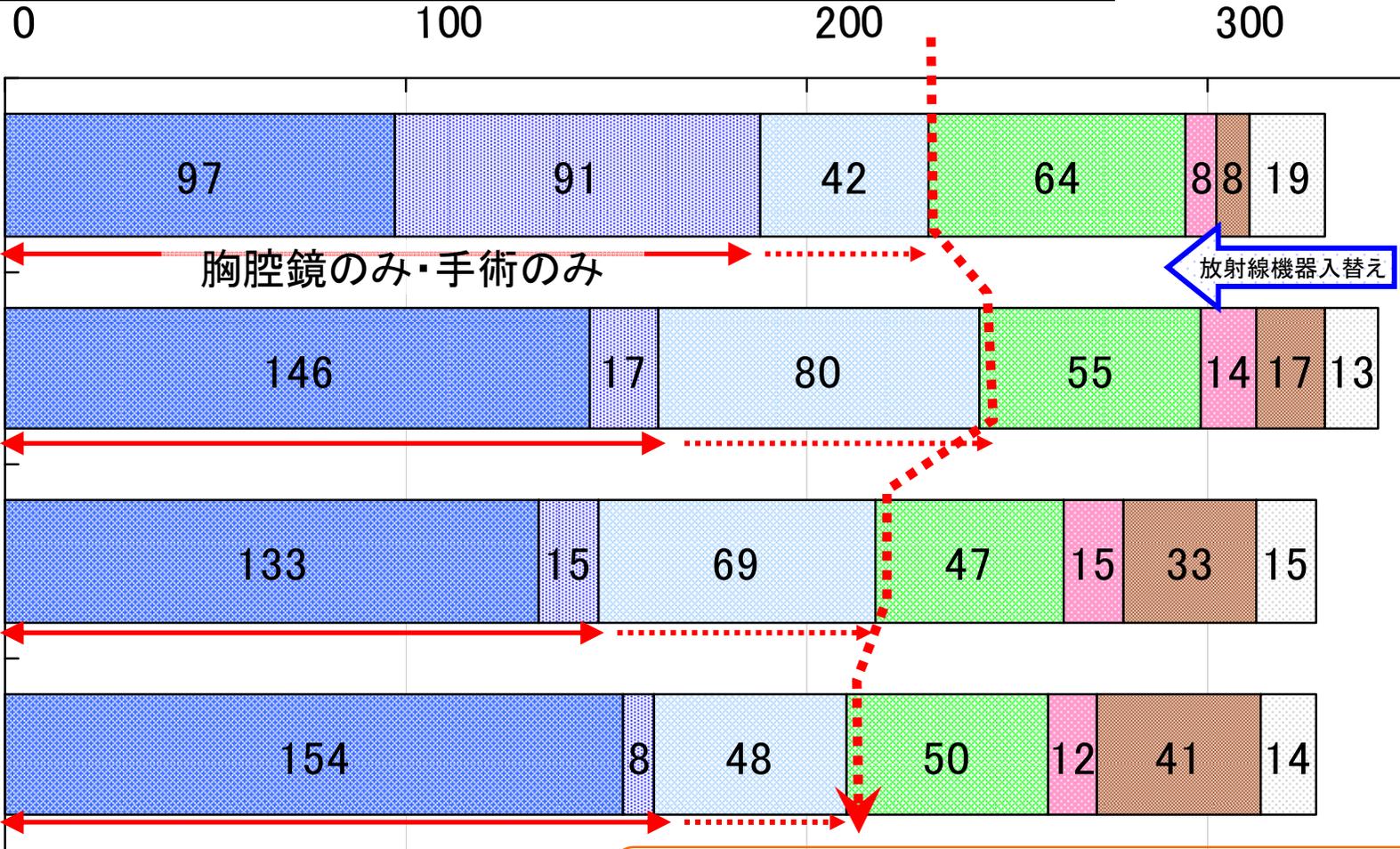


院内がん登録 肺癌

年別治療法別症例数推移（初回治療）

2007年～2010年

1325例



- 胸腔鏡のみ
- 手術のみ
- 手術/胸腔鏡+補助療法
- 薬物療法のみ
- 放射線のみ
- 放射線+薬物+その他
- 経過観察・その他

青トーンは胸腔鏡、開胸術、それらとの補助療法で外科的手術の範囲（赤実線、点線矢印）を示し、前のスライドの矢印ラインとほぼ同じであることがわかる。あわせてVATS適応の症例が急速に伸びている。この集計結果から手術適応については、診療科合同カンファレンスで適切に検討され、治療方針を決定していることがうかがえる。

7月26日(火)

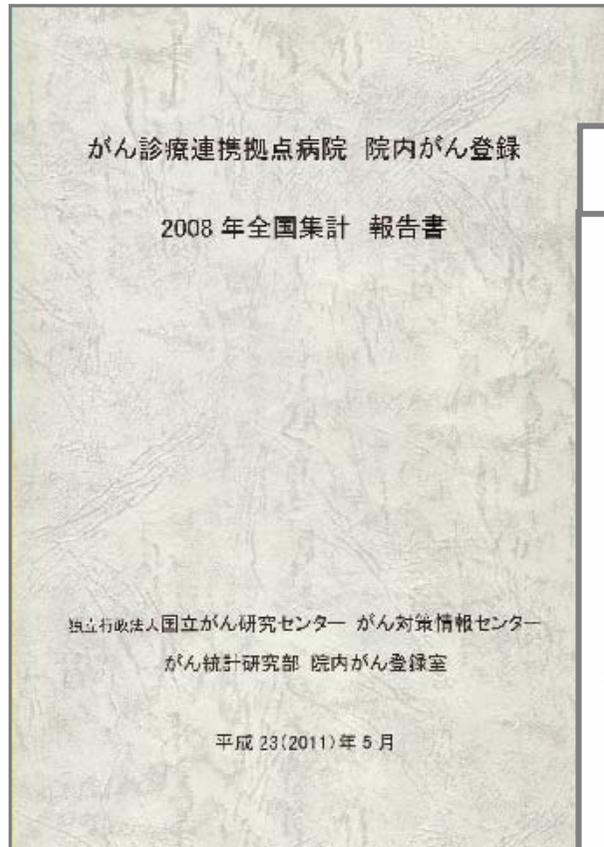
はじめての355施設実名入りの情報公開

国立がん研究センターがん対策情報センターから
院内がん登録「施設別集計結果」が一般公開される

「がん診療連携拠点病院 院内がん登録 2008年全国集計報告」

2008年当時 355施設提出

2011年現在 388施設



#20-1 乳癌 (UICC TNM分類 臨床分類)	症例区分: 2, 3 (自施設初回治療症例) (標準)						
	合計	0期	I期	II期	III期	IV期	不明
全国計	32056	3482	12887	11005	2484	1361	875
34広島県	411	52	177	141	26	12	--
★広島大学病院	169	19	87	47	--	--	--
県立広島病院	77	--	42	25	--	--	--
広島市立広島市民病院	411	52	177	141	26	12	--
広島赤十字・原爆病院	49	--	23	14	--	--	--
広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院	48	--	23	11	--	--	--
国立病院機構 呉医療センター	102	--	47	33	12	--	--
国立病院機構 東広島医療センター	49	--	22	19	--	--	--
広島県厚生農業協同組合連合会 尾道総合病院	80	11	39	20	--	--	--
福山市民病院	55	--	22	18	--	--	--
市立三次中央病院	21	--	12	--	--	--	--
35山口県	50	--	22	19	--	--	--
★山口大学医学部附属病院	108	--	45	44	--	--	--
山口県立総合医療センター	52	--	22	23	--	--	--
国立病院機構 岩国医療センター	50	--	22	19	--	--	--
山口県厚生農業協同組合連合会 周東総合病院	43	--	21	14	--	--	--
総合病院 社会保険 徳山中央病院	75	--	27	34	--	--	--
下関市立中央病院	22	--	--	11	--	--	--
総合病院 山口赤十字病院	29	--	11	11	--	--	--
36徳島県	34	--	15	11	--	--	--
★徳島県立中央病院	--	--	--	--	--	--	--
徳島大学病院	149	17	67	49	--	--	--
徳島赤十字病院	34	--	15	11	--	--	--
37香川県	53	--	26	15	--	--	--
★香川大学医学部附属病院	63	--	30	21	--	--	--
香川県立中央病院	56	--	22	27	--	--	--
三豊総合病院	53	--	26	15	--	--	--
高松赤十字病院	47	--	17	15	--	--	--
38愛媛県	33	--	17	--	--	--	--
★国立病院機構 四国がんセンター	390	42	168	130	31	17	--
市立宇和島病院	58	--	32	17	--	--	--
住友別子病院	33	--	17	--	--	--	--
愛媛大学医学部附属病院	46	--	23	14	--	--	--
愛媛県立中央病院	71	--	32	18	--	--	--

調査の背景と目的

平成19年4月よりがん対策基本法が施行され、その定める、がん診療の均てん化を推進するために、がん診療連携拠点病院が指定・拡充されてきた。

これらのがん診療連携拠点病院は都道府県および地域におけるがん診療の拠点となり、各種医療機関との有機的な連携を図る役割を持つ共に、院内がん登録の体制の整備を通じて施設の実態を把握し、さらに国レベルでのがん対策の進捗を評価するために、そのデータを国立がんセンターがん対策情報センターに提出することが指定要件として定められている。

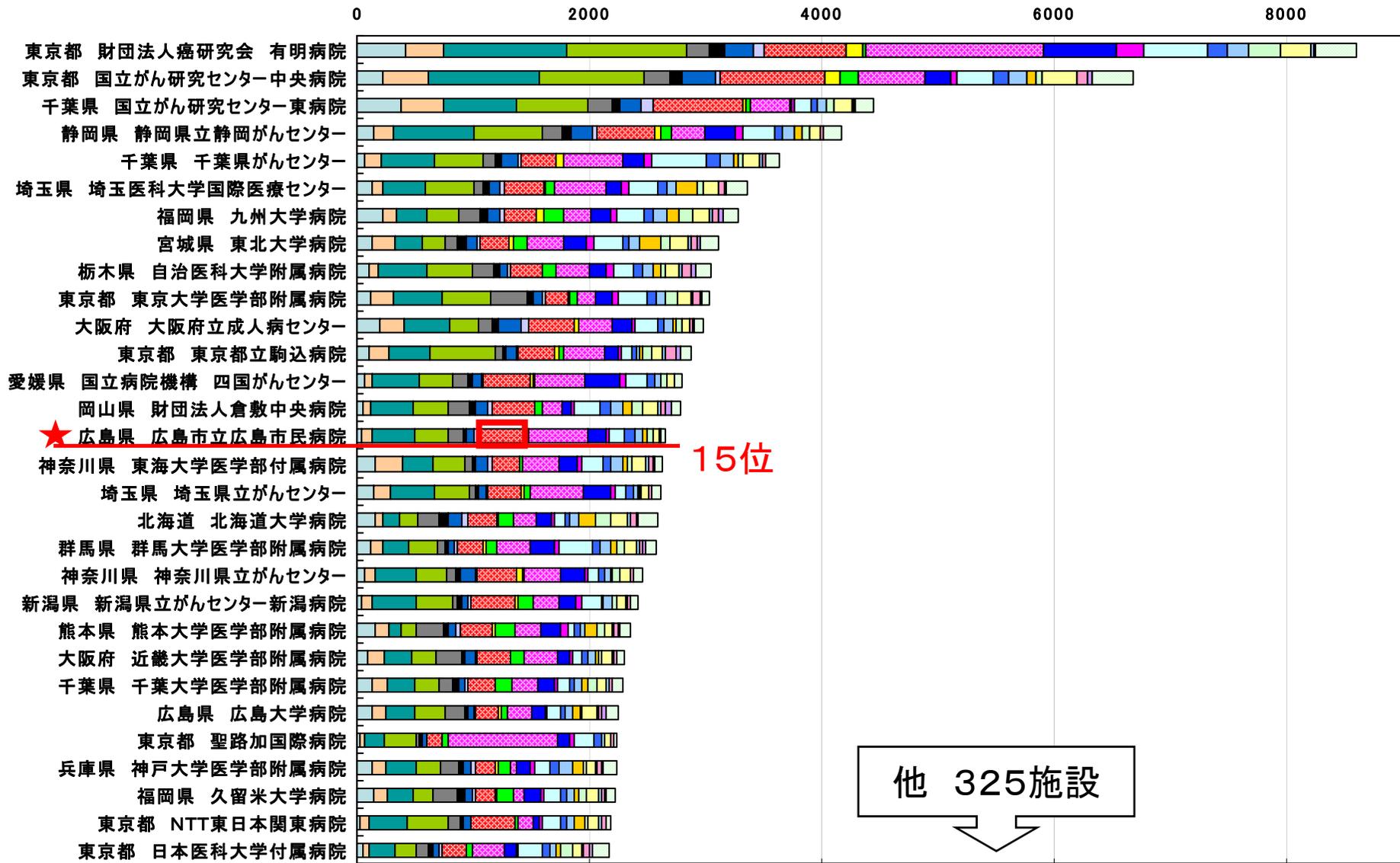
本調査の目的は、全国のがん診療連携拠点病院において実施されている院内がん登録のデータを集計することにより、

①各がん種、進行度、その治療の分布を把握し、国や都道府県のがん対策に役立てる

②各施設が全国と比較した自施設のがん診療状況を把握し、がん診療の方向性等を検討する

ための基礎資料を提供することにある。

全国がん診療連携拠点病院「院内がん登録」集計結果(部位別登録件数)355施設中上位30位



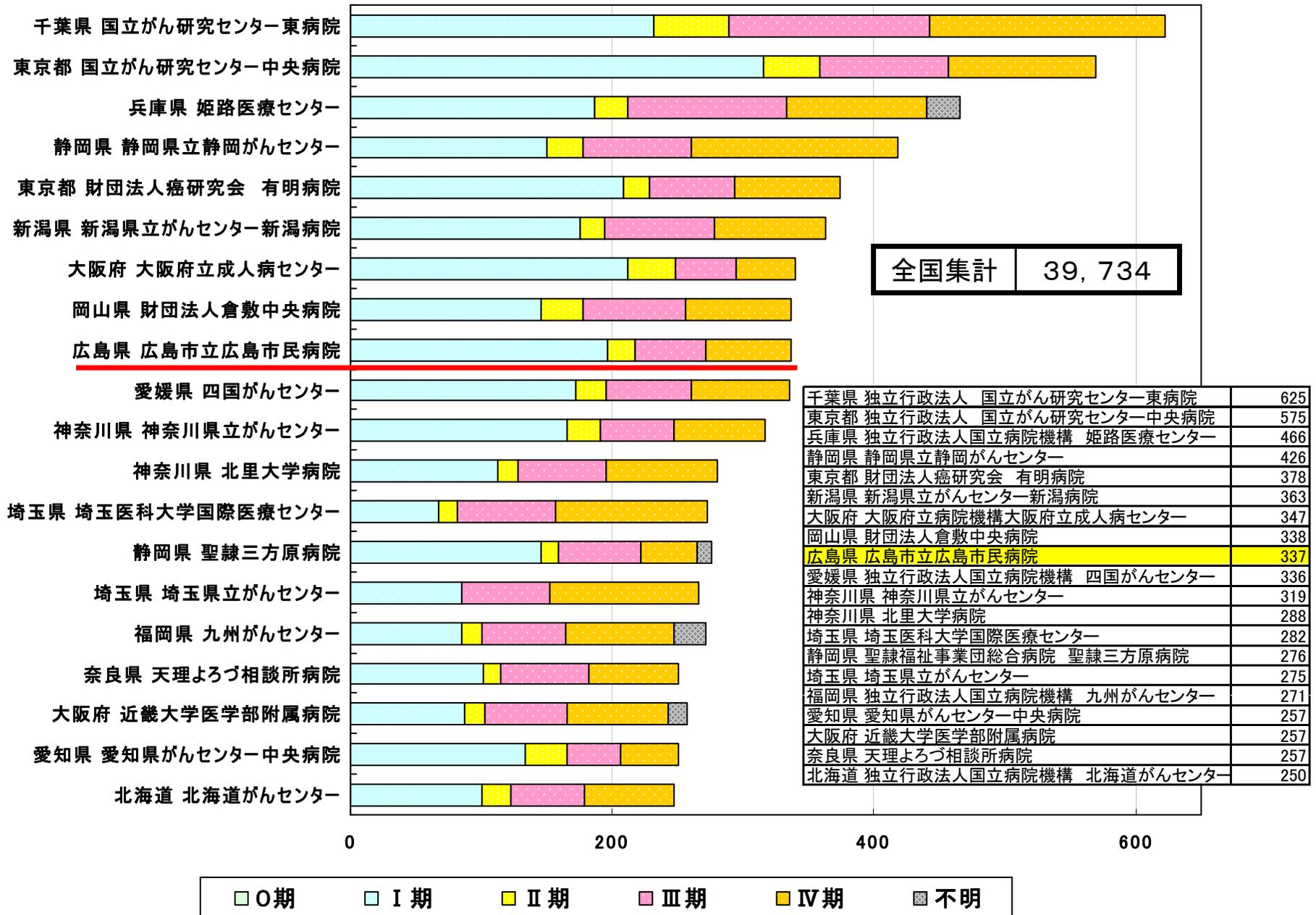
- | | | | | |
|-------------|----------|------------|----------|----------|
| □ 口腔・咽頭 | □ 食道 | ■ 胃 | ■ 大腸(再掲) | ■ 肝臓 |
| ■ 胆嚢・胆管 | ■ 膵臓 | ■ 喉頭 | ■ 肺 | ■ 骨・軟部組織 |
| ■ 皮膚(黒色腫含む) | ■ 乳房 | ■ 子宮 | ■ 卵巣 | ■ 前立腺 |
| ■ 膀胱 | ■ 腎・他の尿路 | ■ 脳・中枢神経系 | ■ 甲状腺 | ■ 悪性リンパ腫 |
| ■ 多発性骨髄腫 | ■ 白血病 | ■ その他造血器腫瘍 | ■ その他 | |

他 325施設



都道府県+施設名	肺
東京都 独立行政法人 国立がん研究センター中央病院	898
千葉県 独立行政法人 国立がん研究センター東病院	764
東京都 財団法人癌研究会 有明病院	701
静岡県 静岡県立静岡がんセンター	499
兵庫県 独立行政法人国立病院機構 姫路医療センター	493
愛媛県 独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	410
広島県 広島市立広島市民病院	409
大阪府 大阪府立病院機構大阪府立成人病センター	392
新潟県 新潟県立がんセンター新潟病院	383
東京都 NTT東日本関東病院	372
岡山県 財団法人倉敷中央病院	371
神奈川県 神奈川県立がんセンター	345
埼玉県 埼玉医科大学国際医療センター	344
北海道 独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター	331
静岡県 社会福祉法人 聖隷福祉事業団総合病院 聖隷	323
東京都 東京都立駒込病院	318
福岡県 独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター	317

全国がん診療連携拠点病院「院内がん登録」2008年集計結果(肺癌ステージ別件数)355施設中上位20位



広島県がん診療連携拠点病院「院内がん登録」2008年肺癌初回治療法集計

